

まちづくり委員会 事業計画(案)

委員長 大塩 裕史

2023 年、新型コロナウイルス感染症の脅威から少しずつ after コロナへと時代が変わりつつあり、これまで敬遠されていた外出やイベントなども徐々に回復の兆しが見えてきています。これまでできるだけ人との接触を避け、自宅で過ごすという日々から、積極的に外出や地域コミュニティ・イベントへの参加などができるようになってきました。その流れの中で、まちづくり委員会として、そうした動きの活性化を図ることで芦屋のまちづくりに寄与したいと考えます。

まず、芦屋の魅力や地域の情報をより多くの人に伝える情報発信事業を行います。今日では、情報伝達媒体が多様化しているため、様々な情報媒体から情報を伝達していくことが重要となっています。社会事業を担う青年会議所として、その若さを武器に、SNS 等を積極的に活用し芦屋の魅力や地域の情報を発信していくことで、人と人の交流が増えていく機会を提供し、まちに笑顔の灯を生み出していきたいと考えます。

次に、芦屋のまちを盛り上げる地域振興事業に取り組みます。芦屋には自然豊かな景観や多くの歴史や文化が存在します。そうした魅力を伝えていくとともに、地域振興事業に関わる人が楽しく、感動するような事業にすることで、明るく豊かなまちづくりに寄与します。

そして、上記の事業を実施していくために、芦屋の地域団体と連携して事業を行います。同じ目的を持つ地域団体と連携していくことで大きな効果を上げることが可能になり、また、それぞれの地域団体と連携して一つの事業に取り組むことで、これまで以上に地域団体と関係性を深め、さらなるまちの発展に貢献します。

芦屋青年会議所は昨年 50 周年という大きな節目を迎えました。今年は「情報発信」「地域振興」「連携」を 3 大テーマとした事業展開を行い、魅力あるまちづくりに貢献できるよう、今年度のスローガンにもあるように「Be Proactive！」の精神で活動します。

そして、まちづくり委員会として、まずは自分たちが嬉しく、楽しく、感動できるような事業にできるように、メンバー一人ひとりと、またそれぞれの地域団体とも連携しつつ、新たな事業に果敢に取り組み、笑顔の灯を芦屋のまち全体に大きく広げていくことで、明るく豊かな芦屋のまちを実現します。

事業計画

1. 芦屋のまちの魅力を伝える情報発信事業
2. 芦屋のまちの魅力を伝える地域振興事業
3. 災害時における復興支援の対応
4. 理事長諮問に対する答申業務